

ジブチで「ICPD25：地域間国会議員会合」を開催

—JPFPA/APDAがジブチ人口・開発議連の設立に貢献—

2月23～24日、国際人口問題議員懇談会（JPFPA）の事務局を務める（公財）アジア人口・開発協会（APDA）は、ジブチ共和国ジブチ市で、ジブチ国会の共催により「ICPD25：地域間国会議員会合」を開催しました。

本会議は、2019年11月にケニアで開催されたICPD25ナイロビ・サミットの成果を踏まえ、アフリカ・アラブ両地域の初めての地域間協力事業として、ナイロビ公約の実施に向けた国会議員の役割と、今後の活動について協議するために開催されました。アフリカ・アラブからの各国国会議員に加え、国連機関代表、専門家、NGO代表などを含む、総勢13か国¹約50人が参集しました。

開会式では、主催者挨拶として、福田康夫 日本国元内閣総理大臣 APDA 理事長・JPFPA 名誉会長のメッセージが発表されました。その中で福田 JPFPA 名誉会長は、関係者の協力に感謝を述べるとともに、APDA/JPFPA の活動を通じてジブチで人口・開発議員グループが設立されたことを祝し、この分野における国会議員活動の活性化を期待しました。また、米谷光司 駐ジブチ共和国特命全権大使が開会挨拶を述べ、ICPD25 及び持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた日本の貢献について触れました。UNFPA からはフレデリカ・メイヤ アラブ地域事務所（ASRO）次長が代表して挨拶を行い、モハメッド・アリ・フメッド ジブチ国会議長が開会宣言を行いました。



会議セッションでは、ICPD25 公約を地域の特性に合わせた方法でいかに実行するのかについて、具体的方策が議論され、国会議員の役割が確認されました。会議で採択された「ロードマップ」には、SDGs の達成にはナイロビ公約の実施が不可欠であることが確認され、各国国内委員会を構成メンバーとするアフリカ・アラブ各地域議員フォーラムの再活性化への努力とともに、UNFPA への財政支援への呼びかけなどが明記されました。

参加議員からは、主催者である APDA、並びに日本国政府と UNFPA の国会議員活動への継続した支援に対して、心よりの謝意が表されました。また、2016 年から APDA 事業に参加し、ジブチ初の人口・開発議員グループ（GPPD）設立を働きかけた、ハッサン・オマール GPPD 初代議長の活躍は、この問題に取り組む国会議員活動の優良事例として、アフリカ・アラブ各国同僚議員から賞賛されました。

¹ チャド、ジブチ、エジプト、エチオピア、日本、ヨルダン、リベリア、マラウイ、ソマリア、スーダン、タンザニア、チュニジア、ジンバブエ

2日目の24日には、最初にジブチ市内にある国立のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）センターを視察しました。同センターでは、医療保険制度により患者の負担が約半分で済むという説明がなされ、近代的な設備の完備状況に参加者は感銘を受けました。次に訪れた国立の養護施設では、大統領夫人の個人的な支援で運営され、近隣諸国からの移民の乳幼児も受け入れ、教育を含む生活全般サービスの提供を行っているとの説明を受けました。同施設の出身者も、スタッフとして活躍していました。こうしたジブチの取り組みに参加者は称賛し、ジブチ側の終始行き届いた配慮に対し謝意が伝えられました。



同施設の出身者も、スタッフとして活躍していました。こうしたジブチの取り組みに参加者は称賛し、ジブチ側の終始行き届いた配慮に対し謝意が伝えられました。

ICPD + 25:地域間国会議員会合

ロードマップ

ジブチ共和国、ジブチ

2020年2月24日

2020年2月23～24日、ジブチ共和国ジブチ市で開催された「ICPD25:地域間国会議員会合」に参加した、私たちアフリカおよびアラブ国会議員は、各地域で持続可能な開発に取り組む際、ICPD25 ナイロビコミットメントの実施が不可欠であることに留意し、このコミットメントの実施に向けて、課題に焦点を当てて活動するにあたり、アフリカとアラブの国会議員の最初の協力となるこの会議の開催を歓迎する。

私たちは、アフリカおよびアラブ諸国における持続可能な開発の達成、並びに持続可能な開発目標（SDGs）の推進のために、地域間交流による本会議が重要であることを表明する。

ICPD25 コミットメントの地域レビューの成果、課題、提言に鑑み、以下に同意した。

1. ICPD25 ナイロビ・サミット、およびそのコミットメントの重要性を認める。
2. 人口が社会を構成していることを認識し、また ICPD25 コミットメントが達成されなければ、SDGs が達成されないことを認識する。
3. これまでの進捗にも関わらず、ICPD 行動計画はアフリカ・アラブ地域で未完の課題のままであり、新たに採択された ICPD25 コミットメントを含む ICPD 行動計画の完全な実施、および 2030 年を期限とする SDGs の達成には、課題が依然として顕著であることを認識する。
4. アフリカ・アラブ地域における持続可能な開発のための 2030 アジェンダおよび ICPD25 コミットメントを再確認し、各国政府が人口政策とプログラムを策定するためのガイドとして、ICPD アジェンダの実施を支援する UNFPA の役割を再確認する。
5. 環境を不可分な要素として扱う持続可能な開発の概念の下で、社会的・経済的発展なくして、実質的な人口問題の進展はないことを認識する。
6. UNFPA に対し、引き続き ICPD25 コミットメントの完全な実施に向けて取り組み、この勢いを活用して、ICPD25 ナイロビコミットメントの完全な実施のためのコンセンサスを形成するよう、政策を展開し、財政的支援を動員するよう求める。

国会議員の役割として、私たちは次のことを約束する：

- 持続可能な開発目標（SDGs）で確認されているように、ICPD25 コミットメントで約束されたジェンダーに基づいた暴力と若者のエンパワーメントへの取り組みの完全な実施に向けた啓発を継続する。
- 各国レベルで、ICPD25 コミットメント実施のための方策を明確にする。

- 人権擁護、特に男女平等、女性、少女、若者のエンパワーメントを推進するような最も重要な改革に向け、社会的規範、法律、政策の改善のための啓発を行う。
- 人口と持続可能な開発に関する国会議員の理解を深めることは、各国の開発にとって極めて重要である。国会議員の(人口と開発分野における)活動をさらに活性化するために、地域間の協力を促進し、国内においては各国委員会を通じて同僚国会議員に積極的に働きかける。
- 国ごとの規則に従って、それが存在しない国においては、人口と開発に焦点を当てた国会議員の活動の仕組みを構築する。
- 国内委員会のメンバーとして、地域議員フォーラムの再活性化に貢献する。
- UNFPA 各国事務所に対し、ICPD25 コミットメントの実施のために、当該国の国内委員会と協力するよう要請する。

バックナンバーはこちらからご覧いただけます ☞ <http://www.apda.jp/topics.html>



国際人口問題議員懇談会 (JPFP) 事務局
 (公財) アジア人口・開発協会 (APDA)
 TEL: 03-5405-8844
 FAX: 03-5405-8845
 E-mail: apda@apda.jp
 Website: <http://www.apda.jp>

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
 尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。